

97 オジロワシ

(タカ目)

兵庫県ランク: B

Haliaeetus albicilla

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎国内希少野生動植物種 ◎天然記念物

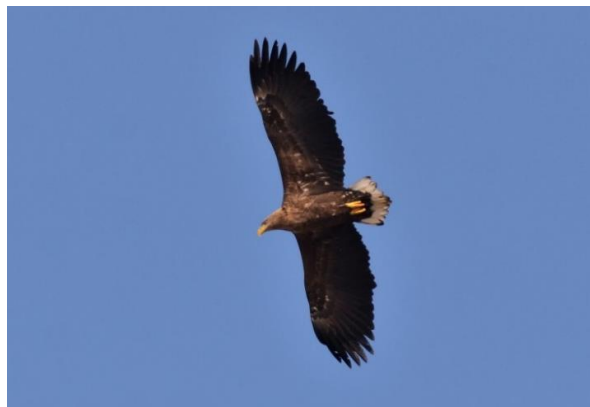
環境省ランク: VU

種の概要

北ヨーロッパからシベリア、中央アジア、中国北東部、日本北部、グリーンランド南西部などで繁殖し、繁殖後は西アジアから南アジア北部、中国、朝鮮半島、日本などに渡り、越冬する。日本では北海道北・東・中部で繁殖し、繁殖後一部は繁殖地周辺に生息するが、多くは北海道南部、本州、四国、九州などで越冬する。海岸、広い河川、湖沼に生息する。魚類や水鳥類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、焼尻島、天売島、本州、舩倉島、佐渡、隠岐、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、三木市、小野市、★稲美町、香美町、新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ ぐら 休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では11-翌4月と7-8月に、ごく稀に記録がある。主に瀬戸内海沿岸または日本海沿岸で記録されるが、かつては小野市鴨池などの内陸の池沼でも観察されている。記録は全て単独個体で、観察例も極めて少ない。

保護上の留意点

魚類や水鳥類が多く生息する水域の保全および再生が重要。既知の越冬地では餌場やねぐら、昼間の休息場を把握し、その保護に努めることが必要。